

最高の 人生の終わりがた ～終末期を考える～

人生の最終段階を迎える患者さん

それは90才のおばあちゃんかもしれない

それは小さなこどもがいるお母さんかもしれない

それは成人したばかりの大学生かもしれない

それは あなたの家族かもしれない

そして それは あなたかも



医療者として 1人の人間として 誰もが向き合わざるを得ない「死」

その場面で本当に私たちが求められるものは何でしょうか。

中四国の医療系学生同士、学年・職種を超えて

学習から感じたこと、考えたこと、それぞれの思いを纏め上げてみませんか？

日時： 2019年6月15日（土）PM～16日（日）AM

会場： 【1日目】 岡山市勤労者福祉センター 岡山県岡山市北区春日町5-6

【2日目】 ホテルメルパルク岡山 岡山県岡山市北区桑田町1-13

宿泊： 岡山シティホテル 桑田町 岡山県岡山市北区桑田町3-30

参加費無料

「中四国医療系学生のつどい」

年に一度、中四国の医療系学生と医師等がつどい、学び、交流する企画です。

医療の役割を、様々な社会課題等を通じて考え、各々の医療観を構築することを目的としています。

【申込み方法】

①氏名・所属②電話番号③メールアドレス④住所を明記の上、下記までメールでご連絡ください。

問い合わせもお気軽にどうぞ。

島根民医連 医学生担当：岩成

MAIL：igakutai117@gmail.com

TEL：0853-21-3360 **参加申込み〆切：5月31日（金）**



内容

【一日目】 6月15日（土） @勤労者福祉センター

13:30 開会式 アイスブレイク

14:00 学習講演

「終末期とは？ 終末期の課題を考える」（仮題）

講師：和田浄史医師

川崎医療生活協同組合 川崎協同病院 外科部長

SGDもしくはグループワーク

19:00 夕食交流会@ホテルメルパルク

【二日目】 6月16日（日） @ホテルメルパルク

終末期にかかわるいろんな課題を、さまざまな視点で考える～

9:00 全体学習 体験談「患者・家族の思い」

分科会 テーブルに分かれて事例・症例学習

医師・看護師・在宅・多職種・患者・家族などから

SGD 班に戻って分科会の共有

まとめ企画 2日間のまとめ

閉会式（～13:00 終了）



和田浄史医師

1992年、横浜市立大学医学部卒業、同大学病院で2年間の初期研修終了後、第二外科学教室入局。98年に退局し川崎協同病院に入職。



昨年の様子

